香取遺産 Vol.96

問生涯学習課 ☎(50)1224

馬頭観音（ばとうかんのん）
馬に乗った観音様

▲編玉（あみたま）神社（阿玉台）脇の馬頭観音

▲観音（かんのん）寺（向油田）の馬頭観音

路傍（ろぼう）や墓地などで、馬に乗った観音像を彫った石仏を見かけることがあります。これは、馬頭観音と呼ばれるもので、江戸時代に当地方に多く建てられました。

馬頭観音は、ヒンドゥー教の最高神の一人ヴィシュヌが馬に化身（けしん）して、悪魔に奪われた聖典を取り戻したという説話が起源とされています。これが仏教に採り入れられ、衆生（しゅじょう）の煩悩（ぼんのう）を排除し、諸悪を打ち破る観音菩薩となったものです。

我が国では、平安時代以降の仏像や仏画にその姿が見られます。頭上に馬頭を頂き、手は馬口印（まこういん）（馬頭印）と呼ばれる印相を結びますが、剣や蓮華（れんげ）を持つ例も見られます。また、他の観音が女性的で穏やかな表情（慈悲（じひ）相）であるのに対し、馬頭観音は目尻を吊り上げ、牙をむき出した忿怒（ふんぬ）相です。このため、馬頭明王などとも呼ばれ、菩薩ではなく明王に分類されることもあります。

江戸時代になると、馬を農耕や荷運びなどに使うことが多くなります。馬頭を頂いた観音様の姿を見て、馬とともに生活する人々の中に、馬に対する民間信仰が生まれました。農家では農耕馬の、馬の産地では生まれた仔馬の無病息災を、荷運びの人達は道中の安全を願い、また亡くなった馬の供養のために、馬頭観音が全国各地に建てられます。

写真で紹介するものは、馬に乗った観音像で「馬乗り馬頭観音」とも呼ばれます。県内に数多く建てられ、主に、香取市を含む東総地方と東京湾沿岸地方に分布します。観音像が馬上に座るものと跨（またが）るものの2種があり、像容が慈悲相となるものもあります。

現代では、競馬場の近くに、病気やレース中の事故で亡くなった馬を供養するために馬頭観音を祀（まつ）ることがあるようです。また、向油田地区の観音寺の堂内には木造の馬頭観音が祀られ、今でも競馬ファンの参詣が絶えません。

メッセージ付き花火募集
～あなたの花火を打ち上げませんか～

問商工観光課 ☎(50)1212

8月1日㈮に開催される「第118回水郷おみがわ花火大会」では、メッセージ付き花火を募集しています。「結婚記念」「商売繁盛」「合格祈願」などの思いを込め、夏の夜空に大輪の華を咲かせてみませんか。

■**対象**　個人・グループ（営利目的は不可）
■**協賛金**　10,000円～
■**内容**　50文字以内の簡潔なメッセージ（お気に入りのBGMも可）
■**申込**　7月4日㈮までに商工観光課

花火大会は観覧席で

問香取市商工会 ☎(82)3307

眼前に打ち上げられる数千発の花火を観覧席で楽しみませんか。

■**協賛金**　16,000円（6人用）
■**申込**　7月1日㈫から香取市商工会

文芸

作品募集　はがき1枚に俳句2句・短歌2首のどちらかと、本名、住所、電話番号を記入し、〒287・8501　広報かとり「俳句」または「短歌」の係まで。毎月15日までの到着分（12月は10日締切）を審査し、翌月号に掲載。掲載される作品は、選者により評を踏まえて添削される場合があります。

香取俳壇

香取　哲郎選

妻の手の湯気もみどりの蓬餅　波田野　哲二（野田）

評　私は草餅が大好きで、少年の頃はいくつでも食べられた。誰も草餅にまつわる思い出を持っているだろう。これは草餅を作っている場面。妻の手の湯気もみどりとは、美しくも巧みな一句である。

神苑の滴の茅の輪くぐりけり　嶋田　武夫（下飯田）

神幸の供奉三千や利根の春　奥村　利夫（一ノ分目）

蟷螂（かまきり）のこぼれ落つほど生まれけり　高木　久英（府馬）

鶯も応援団の草野球　越川　三朝（府馬）

花びらを着て鐘楼の鬼瓦　黒田　昭二（佐原イ）

香取歌壇

稲村　恒次選　・旧仮名遣い

子の居らぬ隣家に気兼ねし鯉のぼり短き竿に小さきを吊る　関　いさお（三島）・

評　日曜や朝夕子供たちの明るい声が響くと巷間に活気が漲るものだが、最近は本当にどこもひっそりしていて、この先はどうなるだろうかと憂えずにはいられない。せめて気兼ねなく鯉幟を揚げられる世が来て欲しいものだ。

木洩れ日を動かし山路に風かよい山吹咲かす枝垂れるほどに　鈴木　一満（八筋川）

黒糖をなめて昔を語りつつ座椅子の叔母は九十路を楽しむ　伊藤　かつ江（津宮）

「広島の娘の家に身を寄す」と電話に告げる友の声はずむ　堀越　治枝（岩部）

桜まつりのこの日は行けず花筏思ひてひとりの心あそばす　伊藤　こと（小見川）・

老いしゆゑ歌作止めむと思へども魅かるるものを断ち難くをり　土方　とし子（みずほ台）・

編集後記

突然ですが、今号の編集をもって、広報の担当を離れることになりました。

あっという間の2年2カ月。さまざまな行事に伺い、取材などでご協力をいただきました皆さん、ありがとうございました。

市民と行政をつなぐ架け橋として、皆さんに「伝える」ではなく、「伝わる」広報紙づくりを目指して取り組んできましたが「読みにくい、分りづらいなどなかっただろうか」と、いまさらながら、改めて自問自答しているところです。

引き続き、最強メンバー（?）で生きた情報をお届けしていきますので、今後とも、広報かとりをよろしくお願いします。（K）

つながろうかとり　香取市　広報かとり Katori

平成26年(2014)6月15日号 №198

編集　香取市役所総務企画部秘書広報課
〒287-8501　千葉県香取市佐原ロ2127
TEL 0478-54-1111　FAX 0478-52-4566
http://www.city.katori.lg.jp

今月の納期限

6月30日㈪	
市県民税	（1期）

今月の休日納税相談日

6月29日㈰

広報かとりは再生紙を使用しています　UD FONT 誰にでも読みやすいUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用しています